

# 日清食品カップ 第32回全国小学生陸上競技交流大会 富山県大会要項

- 1 主催 (公財) 日本陸上競技連盟 (一財) 富山陸上競技協会
- 2 後援 富山県教育委員会 (公財) 富山県体育協会 富山県スポーツ少年団  
財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団 北日本新聞社
- 3 主管 (一財) 富山陸上競技協会
- 4 協賛 日清食品ホールディングス株式会社
- 5 協力 株式会社アシックス 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社
- 6 場所 富山県総合運動公園 富山県陸上競技場 (富山市南中田 368 TEL 076-429-8835)
- 7 期日 平成28年7月3日(日) 受付 8:00~8:30 開始式 9:00 競技開始 9:30
- 8 種目及び 各郡市は下表を1枠としてその範囲以内で選手団を編成する。  
参加人数 (なお、富山市は4枠、高岡市は2枠、射水市は2枠で選手団を編成する。ただし、  
総監督は1名とする。)

種別	種目	選手	指導者	備考
リレー	男子 4×100mR	5名×3チーム	3名	優勝チームは全国大会
	女子 4×100mR (男女友好レース)	5名×3チーム (男女各1名)	3名	〃 (リレーの控え選手による100m走)
単独種目	男子 5年100m	4名	4名	優勝者は全国大会
	女子 5年100m	4名	4名	〃
	男子 6年100m	4名	4名	〃
	女子 6年100m	4名	4名	〃
	男子 80mハードル	2名	2名	〃
	女子 80mハードル	2名	2名	〃
	男子 走幅跳	3名	3名	〃
	女子 走幅跳	3名	3名	〃
	男子 走高跳	3名	3名	〃
	女子 走高跳	3名	3名	〃
	男子 ジャベリックボール投	3名	3名	〃
女子 ジャベリックボール投	3名	3名	〃	
単独種目	男子 1000m	2名	2名	県大会まで
	女子 1000m	2名	2名	〃
		<b>72名</b>	<b>48名</b>	
			1名	(総監督)
		<b>選手団合計</b>		<b>121名</b>

- 9 参加資格並びに条件
  - (1) 選手は、小学校5・6年生の年齢に該当する児童。小学5年生種目への出場者は平成17年(2005年)4月2日~平成18年(2006年)4月1日の間に生まれた者とする。小学6年生種目への出場者は平成16年(2004年)4月2日~平成17年(2005年)4月1日の間に生まれた者とする。
  - (2) 指導者は、出場するリレーチーム及び単独種目のそれぞれの指導者。
  - (3) 総監督は、各郡市陸上競技協会が指名する登記登録者。
  - (4) リレーチームの編成は、各郡市予選会を通過したチームとする。  
(全国大会は5名でのエントリーであり、郡市予選会後の追加エントリーはできません。予選会プログラムを提出すること。)
  - (5) チーム名に小学校は、富山小学校、富山クラブ、富山AC、トマジエアなどコンピューター入力上、全角6文字、半角12文字以内が望ましい。
  - (6) 出場制限 1人1種目とし、種目を重複して出場することはできない。
  - (7) 参加料 1人600円(郡市ごとに大会当日受付にて支払う。)

## 10 競技規則

平成28年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、児童の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。

## 11 競技上の注意事項

### (1) 全般

ア 競技に際してはスパイク（スパイクピンは、オールウェザー用9ミリ以下のピン使用）又はシューズを使用すること。

イ ナンバーカードは、支給されたままの大きさをユニホームの胸と背につける。（腰や腹の部分につけない。）腰のナンバーカードは写真判定のため右腰のやや後方につけること。

ウ 競技者の集合場所は第2ゲートとする。集合場所には、競技に出られる服装でナンバーカードをつけて集合すること。集合時刻に集合場所にいない場合は棄権として処理する。

### (2) トラック競技

ア スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スターティングブロックを使用する場合は、競技場備え付けのものを使用すること。（使用しなくてもよい。）

スタートで同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。ただし、失格となった競技者はオープンとして引き続きレースに参加させる。（順位には含まない。）

イ トラック競技決勝進出者の決定に際して同記録者があった場合は、規則第167条により処理する。

### (3) リレー競技

ア 予選のオーダー及び友好レース（控え選手の100m走）の出場競技者名を所定の用紙に記入し、9時までに郡市受付へ提出すること。決勝のオーダーは、予選のオーダーと同一とする。ただし、けが等やむをえない場合、決勝レースの60分前までに本部に連絡する。

イ バトン競技場備え付けのものを使用する。

ウ テイクオーバーゾーン手前（10mの補助ゾーン内）からの助走を認める。

エ マーカーは各チームで用意する。各走者が使用できるマーカーは1つとする。レース後、次走者のつけたマーカーを必ずはずすこと。

オ 各走者は危険防止のため、走り終わってから自分のレーンを走り、他のレーンに入らないこと。レース後、審判の指示に従い退場すること。

### (4) ハードル競走

80mハードル走は、スタートから第1ハードルまで13m、ハードル間7m、最終ハードルからゴールまで11m、高さ70cm、9台で行う。

### (5) 走幅跳について

A、Bピットに分かれて3回の試技を行い、記録上位者8名が更に3回の試技を行って（Aピット）順位を決定する。

### (6) 走高跳

走高跳（はさみ跳び）は、マットへの着地は足裏からとし、背、腰などからの着地は無効試技とする。また、本大会では、高さ約30cmのマットを使用する予定。

走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

区分	練習	試 技						
男子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以後、3cm 刻みで上げる。
女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35		

### (7) ジャベリックボール投

#### (ルール)

ア 試技順に従って1回ずつ投げ、3回の試技を行って順位を決定する。

イ 助走距離は15m以内とし、投げた後もスターティングラインを超えてはいけない。

ウ 測定方法は器具が地面に最初に触れた時点から計測する。

エ 競技会実施中に器具の破損等が確認された場合、審判員の判断により除去するものとする。

#### (禁止事項)

ア 羽を持つての投てき

イ 回転投げ

#### (その他)

新しい種目になるのでルールを確認し十分に練習を積んで参加すること。

ジャベリックボール投げ指導VTR <https://www.youtube.com/watch?v=7bweL-s0fC0>

## 12 大会申込み

### (1) 提出物

①大会申込書（様式1～3）

②同意書（様式4）

③各郡市予選会のプログラム

④予選会参加者数調査書

(2) 提出期限

①の様式1～2は平成28年6月17日（金）までにデータで提出すること。

**E-mail : [shougakuseirikujo@yahoo.co.jp](mailto:shougakuseirikujo@yahoo.co.jp) まで**

様式3は大会当日の提出でも構わない。

なお、様式1～3の郡市陸協会長印のあるものについては、大会当日（7月3日）に提出すること。

②～④も大会当日の提出でも構わない。

(3) 申込み先

〒939-8081 富山市堀川小泉町一丁目 13-10  
富山市立堀川小学校 Tel 076(424)1911 FAX 076(424)1912  
富山陸上競技協会 普及部 田部大輔

13 表彰 各種目3位入賞者には、賞状とメダル、4～8位入賞者には賞状を授与する。

14 全国大会

- (1) 出場資格 県大会における下記種目の男女優勝者  
4×100mリレー（県大会と同一メンバーの5名）、5・6年生100m、  
80mハードル、走幅跳、走高跳、ジャベリックボール投
- (2) 期 日 平成28年8月19日（金）・20日（土） 1泊2日
- (3) 場 所 神奈川県・日産スタジアム
- (4) 選手団 出場資格を得た選手22名及び総監督を含む指導者4名の計26名
- (5) 宿 泊 各県選手団は大会本部が指定する宿舎に宿泊する。
- (6) 経 費 選手団の宿泊費・交通費（日本陸上競技連盟の規定による実費）は、日本陸上競技連盟が負担する。
- (7) 合宿等 全国大会出場者を対象とした合同合宿（1泊2日）を8月上旬に総合体育センターにて行う予定。そのほかに練習会を数回行う。詳細は後日案内する。
- (8) 説明会 県大会終了後、出場資格を得た選手及び指導者、保護者を対象として全国大会についての説明会を行う。

15 その他

- (1) ナンバーカードは、大会当日受付にて各県選手団に配布する。
- (2) 郡市予選会開催に10,000円の補助金を支給する。
- (3) 参加児童の傷害保険は主催者で加入する。
- (4) 当日、弁当が必要と思われる場合は各自で用意する。
- (5) 競技日程は大会前に「富山陸上競技協会」ホームページに掲載する予定。
- (6) 保護者の駐車場は、必ず指定された場所を利用する。